



【イベント案内】

日本遺産登録「炭鉄港」

5/23(木)から札幌学院大学コミュニティ・カレッジで開講

札幌学院大学社会連携センターでは、5月23日（木）に日本遺産に登録された炭鉄港をテーマとする講座「100年で人口100倍！北海道の推進力《炭鉄港》」（詳細裏面）を開講いたします。

この講座は、札幌学院大学コミュニティ・カレッジ開設20周年を記念するもので、講師は炭鉄港の日本遺産申請にかかわったNPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長 吉岡 宏高氏がつとめます。

札幌学院大学コミュニティ・カレッジでは、北海道の歴史を振り返り未来を考える講座を開講しています。昨年は北海道命名150年を記念して「北海道150年 古文書に見る北海道の光と影」（講師 合田 一道）、「150年間のアイヌの物語」（講師 児島 恭子）を開講しています。

社会連携センターとは

地域社会との新たなネットワークづくりを目的に2002年度に開設。地域と連携した事業のほか、社会人向け生涯学習講座であるコミュニティ・カレッジを開講し、現在までの受講者は28,000名を越えています。

【講座名】 「100年で人口100倍！北海道の推進力《炭鉄港》」

【日 時】 5月23日（木）13：30-15：30 講義 炭鉄港

5月25日（土）9：30-17：30 現地学習 《炭鉄港》の源流を訪ねる

【会 場】 札幌学院大学 社会連携センター

（札幌学院大学1号館2階 〒069-8555 北海道江別市文京台11番地）

※講座の申込みは4月中に締め切っています。

問合せ先：〒069-8555 北海道江別市文京台11番地

札幌学院大学社会連携センター 「コミュニティ・カレッジ」係

※この資料は、北海道教育記者クラブ、江別市政記者クラブに配布しています。

【本件に関するお問い合わせ、取材お申し込み】

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地 札幌学院大学広報入試課広報係

代表 011-386-8111（内線 3515）平日 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00

URL <http://www.sgu.ac.jp/> E-Mail: kouhou@ims.sgu.ac.jp



コミュニティ・カレッジ開設 20 周年記念講座

講座番号 1

※講座の申込みは4月中に締め切っています。

100 年で人口 100 倍！北海道の推進力《炭鉄港》

●定員／30名 ●受講料／3,000 円（バス代・入館料含む）（全 2 回）

空知の石炭、小樽の港湾、室蘭の鉄鋼、そしてこれらを結ぶ鉄道という《炭鉄港》のネットワークは、わずか 100 年で人口が 100 倍と急成長した近代北海道の原動力として活躍してきました。その歴史的な経緯を学び、その源流である夕張で現地学習する実践的な講座です。

回	テーマ／講座日	内 容	講 師
1	《炭鉄港》 5 月 23 日(木) 13:30～15:30	《炭鉄港》の歴史的経緯と意義、今日的な地域振興への取り組みなどについて、現地学習の前に基礎的な知識を充足します。	NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団理事長 夕張市石炭博物館館長 札幌国際大学観光学部教授
2	《炭鉄港》の源流・夕張を訪ねる 5 月 25 日(土) 9:30～17:30(予定)	《炭鉄港》の核となった石炭鉱業の歴史を、北海道最大の炭都であった夕張市の石炭博物館などで学びます。	吉岡 宏高

講師紹介

吉岡 宏高（よしおか ひろたか） 1963 年生まれ。三笠市出身。2005 年札幌学院大学大学院地域社会マネジメント研究科修士課程修了。2015 年金沢大学大学院自然科学研究科環境工学博士後期課程単位取得満期退学。札幌国際大学観光学部教授。札幌学院大学地域社会マネジメント研究科非常勤講師。NPO 炭鉱の記憶推進事業団・理事長として「炭鉱の記憶」を手がかりにした地域活性化に取り組んでいる。2018 年度に大改修オープンした夕張市石炭博物館の館長も務める。

